

栗山公園 だより

【最新情報を簡単アクセス】

★栗山公園公式ホームページ
http://t-daria.com/parktop



11月3日(祝) 今シーズンの営業終了

今年も11月3日(祝)をもちまして、なかよし動物園・KuriyamaParkShop・栗山公園案内所・かき氷＆フードの店「ぼけっと」は冬期閉園・閉店します。

緊急事態宣言により、度重なるお願いばかりでしたが、皆様のご協力のおかげで無事に終えることができそうです。また、感染対策にもご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

最終日には、心ばかりですが「パクパクタイム無料」を実施しますので、お時間のある方はぜひ、ご参加ください。



なかよし動物園「パクパクタイム・全員無料」

◎日 時 11月3日(祝) 10:00～14:00

※お一人様1回限りの参加とさせていただきます。

2回目以降は有料となりますので、ご了承ください。

また、栗山公園案内所・ぼけっと・KuriyamaParkShopでもお得なセールを実施中です。ぜひ、お立ち寄りください。

春までお休みします

◎なかよし動物園 ◎バーベキュー・キャンプサイト
◎栗山公園案内所 ◎かき氷＆フードの店「ぼけっと」
◎KuriyamaParkShop ◎各種遊具

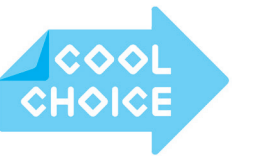
※「さわやかトイレ」は冬も使用できます。

来期開園予定日 令和4年4月29日(祝) 10:00～

【問い合わせ】

栗山公園案内所 ☎ 72-0706

指定管理者 株式会社たかはしダリア



環境にやさしい 「COOL CHOICE」 始めてみませんか？

◆COOL CHOICEとは？

栗山町は2021年、COOL CHOICE(クールチョイス)に賛同しました。

COOL CHOICEとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品の買い換え」「サービスの利用」「ライフスタイルの選択」など、地球に優しい、いろいろな「賢い選択」をしていくという取り組みです。

◆なぜ取り組むのか

日本の平均気温が上がっていることは、皆さんも実感しているのではないのでしょうか。比較的過ごしやすいと言われている北海道の夏も、近年は厳しい暑さが続くようになりました。

今以上の温暖化対策をしなければ、最高気温が30℃以上となる真夏日の日は、更に増加することが予測されています。札幌の現在

の真夏日は年間約8日。21世紀末には年間約51日、1年のうち、約2カ月間も真夏日が続く厳しい環境となります。(COOL CHOICE 公式HPより)

他にも、海水面の上昇や農作物の収穫時期の変化など、地球温暖化は私たちにさまざまな悪影響を及ぼします。



稲作による環境教育事業(継立小学校)

◆気軽にできる取り組みを紹介

☆「おうち時間」でCOOL CHOICE!

・町産の食材で町も地球も笑顔に
地元で採れた食材を選ぶことで、食材を運ぶのにかかる二酸化炭素の発生を減らすことができます！
新鮮でおいしくて値段もお

手頃。良いことづくめです。
・寒くなる季節、根菜・しょうがなど体が温まる食材選び
選ぶ食材を工夫して、体の中からポカポカにしましょう。鍋なども良いですね。



出荷前の町産新しょうが

・「三首」を集中防御!

首・手首・足首には血管がたくさん集まっています。ここをエコカイロやストールなどで温めると、効率的に体を温めることができます。

☆おでかけでCOOL CHOICE!

・安心安全! エコドライブ
ゆっくり発進、ゆっくりブレーキで、地球にもお財布にも優しくなれます。無駄な荷物は降ろして、車も心も軽く!
・「確認」で防げる食品ロス
買い物前には冷蔵庫の中身、買い物中は「食べきれるか」「本当に必要なか」を確認しましょう。

☆NPO法人雨煙別学校でも取り組んでいます

COOL CHOICEはNPO法人雨煙別学校が運営する「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の公式ツイッターほか、SNSなどで発信中です。日々の活動やイベントのようす、地球にやさしい行動をお話しにして「#雨煙別140」とつけて投稿してもらうキャンペーンなどを開催しています。ぜひフォローしてください!



NPO 法人雨煙別学校のCOOL CHOICE 推進ポスター



公式ツイッターQRコード

こんにちは! 町史編さん室です

町史編さんに関わって

町の理事者をはじめ、たくさんの方々のご協力で、町史編さんは最後の作業に至っています。

地域再生、国際化、情報化、高齢・少子化などの転換期(平成期)のなか、刊行することの意義を考えざるを得ません。私は先人たちの遺産を通して、さまざまなメッセージを感じながら編さん作業を続けてきました。例えば町草創期、泉麟太郎翁が残された実績・精神訓話。また、厳しい状況のなかで励まし、助け合ってきた行政や地域住民の姿などです。

「歴史学は単なる過去の探求ではなく、未来学でもある」。敬愛する筑波大学の大濱徹也名誉教授の言葉を胸に、私が常に気を付けていたことを4点紹介します。

- ①今まではあまり紹介されてこなかった史料や、新たな史料を発掘し、既刊町史の内容充実を図ること。
- ②町民の日常生活の変遷を探り、上からの解説者目線ではなく、当事者目線で生活の実

相を明らかにすること。

- ③空知・北海道・日本、さらに世界の遺産に学びながら、今日の町が発展していること。
- ④叙述は過去の刊行物のなかでどの箇所に記載されているかを極力紹介、要約するように努め、既刊町史での記載の明示、第3巻との関連性を持たせるようにしたこと。

また、自由に読み解くことができるように、記述は「解説・引用紹介」に止めるように努めました。

令和3年度末刊行予定の「栗山町史第3巻(通史・資料編)」が住民一人ひとりの「活力源」となることを願いつつ、最後の作業をしています。(阿部)

【問い合わせ】

町史編さん室
☎ 7820